

日本エクスラン工業

## アクリル繊維のリサイクル開始

### 工場廃棄物を利用

日本エクスラン工業は、自社工場で発生する廃棄アクリルのリサイクルを始める。年間に約100トン生じる廃棄アクリルを重合して紡糸する。再生アクリルは「アクリケア」の名称で販売する。機能性アクリルやアクリレート繊維も生産できるという。

アクリル繊維などを製造している西大寺工場（岡山市）における省資源・資源リサイクルの一端として取り組む。これまでは製品にならないアクリル（わた）について

は廃棄もしくは焼却処分を行ってきたが、再利用に着目して独自のエンプロダクト品の開発を実現した。

再生アクリルは3・3デグワのわたの生産が中心になるが、「2・2デグワ」のわたも製造できるとし、品質面にも問題は無い。

価格については、レギュラーアクリルと比べて「3割程度高くなる」としている。販売開始時期は顧客の要望を見て判断する。

同社は工場での環境負荷低減策を前向きに進めてきた。2018年に工場に必要な電力設備を、都市ガスを使用したエネルギー効率の高い発電に切り替え、これによりCO<sub>2</sub>の年間排出量を47・1%削減した。これは自家用車の年間CO<sub>2</sub>排出量の2万台分に相当する。

2021/12/15  
繊維ニュース